ニ附近空地及争議團本部ニ集合事業主宅ニ向ケ示威運動ヲ計
畫セルカ同日ノ交渉好轉セルヲ以テ計畫ヲ中止シ其ノ旨各支
部ニ指令セリ

一、交渉状況

六月二十六日午前十一時ヨリ從業員代表望月、池田、高田、
田中等ハ調停課ニ出頭シ事業主代表吉田實ト折衝セルカ結局
別記覺書ノ通解決

右及申（通）報候也

覺書

吉田大理石大崎第二工場對從業員ノ勞働争議ハ今回調停官ノ斡旋ニ依リ左ノ條件ヲ以テ円満解決シタルニ就テハ玆ニ覺書三通ヲ作成シ當事者双方及調停者各一通ニ之ヲ保持スルモノトス

記

一、從業員ハ工場閉鎖ヲ認ムルコト
二、工場主ハ解雇者本工十七名ニ對シ解雇手當トシテ各自ノ日給ノ三ケ月分宛ヲ支給スルコト
三、工場主從業員ニ對シ争議中ノ日給トシテ一ケ月分ノ日給ノ三分ノ一宛ヲ支給スルコト
四、工場主ハ臨時工ニ對スル同情金其ノ他トシテ金八百四十円ヲ支給スルコト（臨時工ノ分二百四十円）
五、工場主ハ若シ將來大崎第二工場ヲ再ニ開ク場合ハ閉鎖當時ノ從業員ヲ優先的ニ採用スルコト
高輪工場ニ於テ臨時工ノ必要ノ場合ニモ優先的ニ雇傭スルコト

昭和六年六月二十六日

吉田大理石工場主代理　吉田實
全國勞働組合同盟關東合同勞働組合代表　望月源次
吉田代理石争議團代表　高田重次郎
調停者　藤沢喜久郎